

急増するスマートフォンのトラブル

内容

スマートフォンを数日間の海外旅行に持参し、その間の利用は通信もインターネットの利用もごくわずかだった。帰国後料金明細を見ると、その間の料金が2万円になっていた。(30歳代 男性)

ひとこと助言

- ・スマートフォンでは海外でも自動通信をしてしまうので、思わぬ請求を受ける可能性があります。海外に持っていく場合には、必ず日本国内で事前に設定方法や課金方法を確認しておきましょう。
- ・スマートフォンでは、インターネットや様々なアプリのインストール、SDカードなどからのウイルス感染やフィッシング詐欺などの危険性があります。セキュリティ対策はパソコンと同様にウイルス対策ソフト(アプリ)の導入が必要です。アプリは携帯電話会社のサイトや信頼できるストアから入手しましょう。
- ・スマートフォンの不具合は、機器自体の不具合である場合と、利用方法による場合が考えられます。どのように使ったときに、どのような症状がおこったのかを記録し、携帯電話会社のショッブなど修理窓口で伝えましょう。

小郡市消費生活相談室

▶ 窓口開設日

毎週月・火・木・金曜日
／午前9時～正午、
午後1時～4時

▶ 問合せ先

小郡市消費生活相談室
72-2111内線144



こちら119

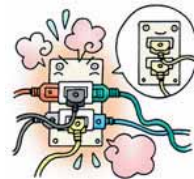
住宅防火対策

発行 **2012.10**
久留米広域消防本部
三井消防署
72-5101(代)

火災は、ちょっとした気の緩み、不注意や火の不始末などから発生しています。火災を未然に防ぐためには、一人ひとりが防火に対する意識を持ち、日頃から心がけておくことが大切です。また、火災が発生しても早期に発見できるように住宅用火災警報器を設置しましょう。

火の用心『7つのポイント』

- ・家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- ・寝たばこやたばこの投げ捨てはしない。
- ・天ぶらを揚げる時は、その場を離れない。
- ・風の強い時は、たき火をしない。
- ・子どもにはマッチやライターで遊ばせない。
- ・電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
- ・ストーブには、燃えやすいものを近づけない。



住宅防火『いのちを守る7つのポイント』

〔3つの習慣〕

- ・寝たばこは、絶対やめる。
- ・ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ・ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。



〔4つの対策〕

- ・逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ・寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する。
- ・火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- ・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

